

令和2年度

令和3年3月1日



遷喬小だより

3月号

TEAM 遷喬 PRIDE 遷喬

～子どもも 教師も 地域も 伸びる学校～

今年度最後の参観日

1年前、新型コロナの影響で全国一斉の臨時休校に入りました。

あれから1年。保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力のもと、様々な工夫を重ねて苦勞を乗り越えてきました。子どもたちも様々な制約の中で前向きに頑張り大きく成長しました。

金曜日には、今年度最後の参観日に大勢の保護者の皆様に来ていただき、ありがとうございました。子どもたちの学びの成果を観ていただいたり、親子で一緒に振り返りをしたりすることができたのではないのでしょうか。

1年「できるようになったよ」



2年「できることになったこと発表会」



3年「できるがふえたよ発表会」



4年「キャリアパスポートで
1年間を振り返ろう」



5年「一版多色版画」



6年「家族に感謝を伝えよう」



新1年生体験入学

新1年生の入学を迎える季節となりました。

安心して入学できるように、小学校を楽しみにしてもらえらるるように、1年生と5年生が工夫を凝らして待っていました。

1年生と一緒にランドセルを背負ってみたり、朝の健康観察をしたりしました。また1年生になっできるよになったことも見てもらいました。

5年生とは、一緒にこおり鬼をしたり、学校探検をしたりしました。

1年生も5年生もとてもやさしく新1年生に関わることができていました。

本校では、このように子どもたちが主体になって、人のために動く経験を大切にしています。

コロナ禍の中、人と人とのつながりが大切だと改めて実感した1年でもありました。

来年度もよいスタートになりそうな予感がした新1年生体験入学でした。



和の文化 書写・茶道

学校では和の伝統を大切にしたい学びがあります。初めて毛筆が始まる3年生の「書写」は普段は中島美枝先生が丁寧に指導していますが、書き初めの時には酒井智佐先生にお世話になりました。「茶道クラブ」では、年間を通して横山順子先生にお世話になっています。書写や茶道のように地域の先生とともに学びを深めていることは本校の特色の一つです。

伝統を学ぶ時に大切にしている礼儀作法は人として生きていく上で全ての基本になることだと思います。先生の声かけを聞くと、そのことがよくわかり、教わる子どもたちは幸せだと感じます。例えば、書道では「背筋を伸ばしてね。」「集中して心を込めて書こうね。」茶道では「うつわは両手で大切に持ってね。」「音を立てないようにやさしくね。」等、心を落ち着かせて集中することや相手を思いやる心を大切にしていることが伝わってきます。

日本人が長く受け継いできた和の心をみんなで大切にしていきたいものです。

茶道クラブ



3年書き初め作品



3年書写の時間の姿勢・集中力



◆真庭市人権作文

最優秀賞 4年 福島 優衣

奨励賞 4年 三船梨々華

◆真庭市人権標語

奨励賞 6年 浜田 樹

「優しさは 世界を変える 第一歩」

人権についてよく考えて表現しましたね。